

## 第 2 学年 学級活動学習指導案(学校給食)

1. 題材名 元気な毎日は朝ごはんから

2. 指導にあたって

文部科学省が小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施した令和元（2019）年度「全国学力・学習状況調査」によると、朝食を欠食することがある小学生の割合は 4.6%、中学生の割合は 6.9%と、一定割合を占めている。また、同調査の結果によると、毎日朝食を食べる子供ほど、学力調査の平均正答率が高い傾向にある。さらに、スポーツ庁が小学校 5 年生と中学校 2 年生を対象に実施した令和元（2019）年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、毎日朝食を食べる子供ほど、体力合計点が高い傾向にある。

朝食の欠食率は学年が上がるほど高くなっている。朝食欠食が少ない低学年の間に、朝食を食べることで体や脳が目覚めることや、排便につながることを知らせ、朝食をとることの大切さを覚えさせておきたい。また、朝食を食べるために気をつける事について考えさせ、朝食をしっかりと食べて元気に過ごす意欲を持たせたい。

3. 食育の視点

朝食の大切さがわかり、朝食を進んで食べることができる。(心身の健康)

4. 指導計画 (全 1 時間)

元気な毎日は朝ごはんから・・・1 時間 (本時)

5. 本時のねらい

○朝食を食べることが必要である事を理解することができる。 (知識及び技能)

6. 本時の活動

学習内容と活動	指導上の留意点 評価(◆)	資料
1.朝ごはんを食べないと困ることを考える。	○朝ごはんを食べないとどんな困ることがあるか考えるようにする。	朝ごはんを食べないとこまること(文字カード)
2. 紙芝居「げんきなまいにちはあさごはんから」の話を聞く。	○紙芝居「げんきなまいにちはあさごはんから」を読む。	紙芝居
3.朝ごはんの働きを考える。 ○体がめざめる。 ○のうがめざめる。 ○うんちがでる。	○紙芝居をみて朝ごはんを食べると 3 つの働きがある事を思い出すようにさせる。 ○児童の発表を板書する。	(紙芝居の絵) 体がめざめる。 のうがめざめる。 うんちがでる。
4. 毎日朝ごはんを食べるためにどんな事をしたらいいか考える。	○紙芝居で朝ごはんを食べなかった元気君が朝ごはんを食べるようになった理由を知らせる。 ○児童の発表を板書する。	(紙芝居の絵) 夜中まで起きている。 階段から落ちる。 病院で早寝、早起き。 朝ごはんを食べた後
5. 今日の学習でわかったこと、思ったことを考える。	○今日の学習を振り返って考えるように助言する。	トイレに行く。 朝ごはんを食べるためにすること(文字カード)

6. 考えたことを発表する。	○児童の発表を板書する。 ◆朝食を食べることが必要である事を理解している。(知識・技能)	わかったこと、おもったこと(文字カード)
7. まとめと振り返りをする。	早寝早起きを心掛けて、朝ごはんを毎日食べるように付け加える。	

7. 板書計画

**元気な毎日は朝ごはんから**

**朝ごはんを食べないとこまること**

- ・元気が出ない
- ・しんどくなる
- ・イライラする
- ・お腹がすく

**朝ごはんのはたらき**



からだめざめる



のうめざめる



うんちがでる

**朝ごはんを食べるためにすること**

- ・早くねる。
- ・夜おそくに食べない。
- ・早くおきる。
- ・うんどうをする。

**早くねる**  
**夜おそくに食べない**  
**早くおきる**

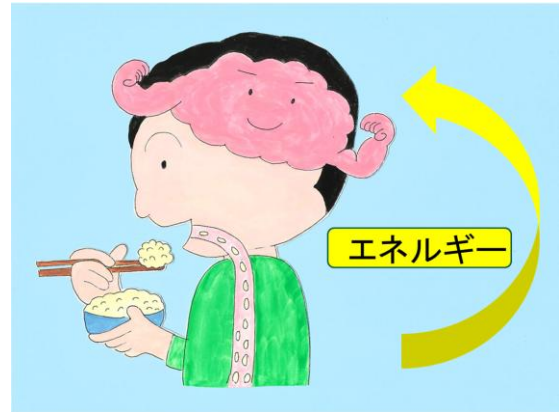
**わかったこと おもったこと**

- ・朝ごはんを食べると元気になることがわかった。
- ・朝ごはんを食べるといいことがたくさんあることがわかった。
- ・早おきして朝ごはんを食べる
- ・夜おそくまでおきないようにする。

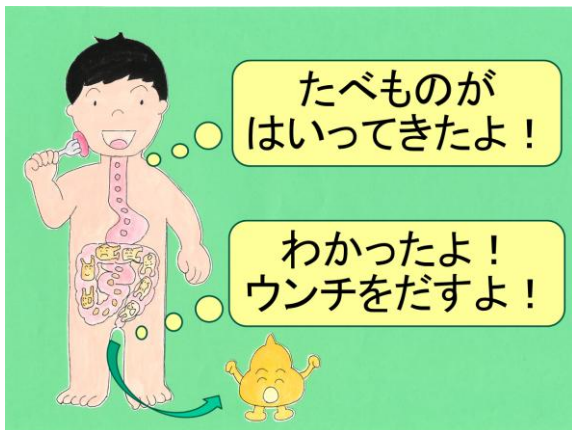
**指導資料** (印刷はパワーポイント資料より可能)



からだめざめる

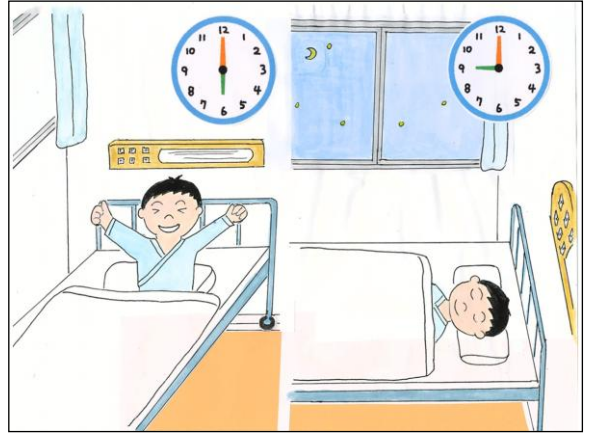


のうめざめる



うんちがでる





1 「かみしばい」にでてきた、朝ごはんのはたらきをかきましょう。



がめざめる。

がめざめる。

がでる。

2 朝ごはんを食べるためにはどんなことをしたらいか、書きましょう。

---

---

---

3 「わかったこと」「おもったこと」ことをかきましょう。

---

---

---

---